

コンポストの使用方法

1. 下準備として生ごみを入れる前に細かく切り、水気をよく切ります。
2. コンポストを日当たり、水はけ、風通しのよい土の上に設置します。
3. ハエなどの侵入や風で転倒しないようしっかりと地中に固定します。
4. 下準備した生ごみを入れ、その上から落ち葉や雑草を混ぜつつ土をかぶせます。
これを容器が一杯になるまで繰り返します。
※コンポストの種類によって投入する基材や量が異なりますので事前に確認しておきましょう。
5. 容器に一杯になったら土で覆って熟成させます。発酵には夏場で約1ヶ月、冬場で約2~3ヵ月程度かかります。
6. コンポスト容器を外し、未分解の部分を取り除けば堆肥の完成です。

コンポストの注意点

1. 天気のよい日はフタを開けて通気をよくしましょう。
※虫が入らないようネット等をかぶせてください)
2. 水分調整をしっかりと行わないと悪臭が発生します。多くても少なくともダメなので、目安は手で握って形が崩れない程度がよいです。
3. 生ごみは虫の餌になるので発生を防ぐための対策が重要です。
①一度に大量の生ごみを投入しない。
②必ず土に埋める。
③卵を産まないように目の細かいネットで覆う。
4. 必要に応じて市販の発酵促進剤の使用も効果的です。
5. 発酵が進むと土の中の温度が50~60度まで上昇することもあります。温度もひとつの目安としてください。

6. コンポストには入れてよいものとダメなものがあります。分解されにくいものなるべく避け、入れてはダメなものは入れないなどの対策をお願いします。

入れて良いもの	分解されにくいもの	入れてはダメなもの
<ul style="list-style-type: none">・野菜、果物・ご飯、パン、麺類・魚、肉類・茶葉	<ul style="list-style-type: none">・生米・野菜の皮、芯・果物の種・魚や肉の骨	<ul style="list-style-type: none">・貝殻・割り箸や爪楊枝・ラップ・ビニール袋